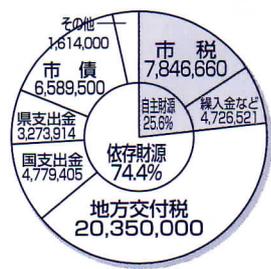




3月定例会 市、「地域づくり相談員」報酬の条例改正案を撤回

24年度一般会計当初予算は491億8千万円



24年度一般会計予算 歳入(単位:千円)

3月定例会が2月27日～3月19日の会期で行われました。提案された各議案の中で、「地域づくり相談員」の報酬についての条例改正案が議会の理解を得られず、市当局は最終日の3月19日、「今後のあり方について、さらなる検討を要する」との理由で本議案を撤回しました。

24年度の一般会計当初予算案は賛成多数(賛成23・反対3・退席1・欠席1) 青山ゆたか市は賛成で可決されました。横手駅前再開発や、横手明峰中建築工事等の大型事業が終了したことと前年度に比べ5.7%の減となっています。

「地域づくり相談員」は人口減少と高齢化が進む集落を維持するために住民⇄行政の連絡の調整、住民同士の話し合いの場を設ける、集落を巡回・状況把握し活動報告書を提出などの活動をします。

問題となったのは月額4万8千円という報酬額でした。これは、無報酬や少ない報酬で同じ地域のためにがんばっている方々に比べ、明らかに高額です。

他自治体のように相談員が県外から来るとい場合は生活給の意味合いがあり、理解できるのですが横手市の場合、「その集落に住んでいる人」を相談員に委嘱する方針が基本のようです。そうなるこの「報酬」を巡って集落内で軋轢を生みかねない。集落のために良かれと思った事業が逆効果となる。そんな心配があります。

活動の趣旨や相談員の存在意義は理解できるもの。実情に合った報酬額の再設定を望みます。

主な事業

- ・横手地区中学校統合事業(25年度開校の横手北中学校校舎、体育館、屋外運動場等の建設) **20億8千万円**
- ・廃棄物処理統合施設整備事業(統合ごみ処理施設と搬入路の土地購入費、基本設計等) **3億8千万円**
- ・後三年合戦関連遺跡調査費(国指定に向け、大鳥井遺跡に続き、金沢の柵の指定を目指す) **900万円**
- ・伝建推進事業(増田地区の「内蔵」を中心とした地区の伝統的建造物を保存地区指定を実現し、魅力的

なまちづくりを推進) **579万円**

・「人財立市」推進事業(社会人基礎力の向上を目的とする講座の実施) **367万円**



横手北中敷地造成工事



国の指定となった大鳥井遺跡

23年度一般会計補正予算案を承認・可決

3月定例会では23年度の一般会計補正予算案が4件提出され、いずれも全員賛成で承認・可決されました。累計額は54.9億2千万円となります。

- 第8号 4億円(除雪費)
 - 第9号 1億円(除雪費)
 - 第10号 826万円
 - 第11号 7億8千万円
- 主な事業は以下の通りです。
 ・強い農業づくり交付金事業 (3億円) JAおものがわのカー

トリイエレベーター新設事業に対する補助金補正
 ・緊急告知FMラジオ設置事業 (6千円) 一人暮らしの高齢者等に災害を告知するFMラジオを前倒しで配布
 ・中山間地域農業活性化緊急基盤整備事業(600万円) 山内・三又地区の用排水路等整備費負担金補正



▲上越市のFMラジオ